

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	音楽	種目	合唱
	応募区分	特別エリア区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	いっばんざいだんほうじんがっしょうおんがくしんこうかい			
	制作団体名	一般財団法人合唱音楽振興会			
	代表者職・氏名	代表理事 堤 剛		団体ウェブサイトURL	
	制作団体所在地	〒	169-0051	最寄駅(バス停)	早稲田(東京メトロ)
		東京都新宿区西早稲田2-3-18			
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	☐ ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です			
	ふりがな	とうきょうこんせいがっしょうだん			
	公演団体名	東京混声合唱団			
	代表者職・氏名	理事長・音楽監督 山田和樹		団体ウェブサイトURL	
				https://toukon1956.com/	
	公演団体所在地	〒	169-0051	最寄駅(バス停)	早稲田(東京メトロ)
		東京都新宿区西早稲田2-3-18			
	制作団体 設立年月	1981年4月			
	制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
		代表理事:堤 剛／理事:池辺晋一郎・小林信一・藤本草・城満志 評議員;浅野紀子・河野彰子・山田茂 ／監事:曾根研一		事務職員ほか、作曲支持会員200名	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く		本事業担当者名	安藤 博
	経理処理等の 監査担当の有無	有		経理担当者	大西美紀
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号	
		ando@tokyo-concerts.co.jp		0363803350	

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	一般財団法人合唱音楽振興会 1981年4月 東京混声合唱団(1956年設立)を中心として、我が国の職業合唱団ならびに合唱音楽の一層の振興のため、関係民間会社や東京混声合唱団メンバーの拠出金により、財団法人として設立。 2012年一般財団法人に移行。 合唱音楽を主体とする音楽芸術の創造・普及を図ると共に、芸術文化の発展に寄与すべく各種事業を行っている。 【主な事業目的】 ・合唱音楽の公演開催 ・青少年に対する音楽普及啓蒙活動 ・合唱作品の作曲委嘱 ・その他
	学校等における公演実績	2024年度 開智中学高等学校鑑賞教室(5月29日)／青稜中学高等学校鑑賞教室(7月8日)／淑徳中学校芸術鑑賞教室(11月12日)／高松東高等学校鑑賞教室(11月4日他全12校 2023年度 長野市中学校音楽鑑賞会(5月8日～19日長野市立東部中学校他18校)／南山学園高等学校男子部文化鑑賞会(6月14日)／平塚市大住中学校鑑賞教室(10月19日)／飛騨市小中学校音楽会(10月20日)／東葛西西中学校音楽鑑賞教室 2021年度 目白研心中学校・高等学校音楽鑑賞会(11月4日)／立命館中学校・高等学校音楽鑑賞会(12月1日)／小平市立小平第五小学校「夢と希望のコンサート」(10月22日) 2020年度 桐朋学園高等学校音楽鑑賞会(10月14日)／開智中学校音楽鑑賞会(11月27日) 2019年度 新潟市音楽鑑賞会(5月27日～31日、6月24日～28日、7月1日、2日)／日の出町立平井中学校音楽鑑賞会(10月23日)／豊島区立西巣鴨中学校鑑賞教室(10月26日)／南山学園中学校芸術鑑賞公演(10月19日)／伊丹市中学校音楽鑑賞会(12月2日～5日)他 2018年度 宇都宮市内高等学校芸術鑑賞公演(6月12日)／岐阜県飛騨市青少年のための芸術体験教室(10月16日16日～18日)／前橋市立鎌倉中学校芸術鑑賞公演(10月18日)他 2017年度 桐蔭学園芸術鑑賞会(5月9日)／所沢市立小手指小学校芸術鑑賞教室(6月16日)／山形市小学校音楽鑑賞教室(7月4日～7日)／宇都宮女子高等学校芸術鑑賞会(7月19日)／足立区立綾瀬小学校芸術鑑賞会(10月11日)他 *以上は、本事業(学校巡回公演事業)関係を除く。
	特別支援学校等における公演実績	大阪北視覚支援学校(2023年10月10日) 長崎県立盲学校(2024年1月29日) 京都府立丹波支援学校(2018年11月) 山形養護学校(2017年7月) 山形聾学校(2016年7月) 長野県須坂市支援学校(2016年6月) 新潟盲学校(2016年6月) 新潟大学附属特別支援学校(2016年5月) 新潟県立東新潟特別支援学校(2016年5月) 以上の他、多数公演歴あり

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/RKH0hLOwOL8	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	設定なし
		PW:	設定なし

一般区分・特別エリア区分共通

No.2(実演芸術)

別添	あり
----	----

【公演団体名東京混声合唱団】

本公演・ワークショップの内容	対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○		
		小学生(高学年)	○	中学生	○		
	企画名	心に響かそう、合唱音楽！ 子供たちに届けたい日本の歌、世界の歌					
	企画のねらい	すべての音楽の原点である合唱、明治以来歌唱教育は学校教育現場においてもっとも重視されてきました。その流れは現代においても全国の多くの学校で学内合唱コンクールが盛んに行われているとおり脈々と受け継がれています。また「歌」は器楽のように特別な訓練がなくとも皆が平等に楽しめる音楽でもあります。本企画では、日本と世界の合唱曲より名曲を厳選し、子供たちの心に永遠に残るよう、プロの合唱団が心を込めて演奏いたします。					
	演目概要・演目選択理由	プログラムは対象年齢層に合わせて小学校用、中学校の2種類を用意し、子供たちの心に残したい名曲と一緒に参加することにより、音楽の楽しさも体感してもらうよう、全体を5部構成としています。第1部では、日本の歌の原点である美しい唱歌(この道、待ちぼうけなど)、第2部では「ハレルヤ」など世界の名曲合唱曲、第3部では女声、男声、混声合唱の違いを楽しむ(小学校)、ア・カペラ楽曲の多様なスタイルと純粋で奥深い響きを楽しむ(中学校)作品集、第4部では東混と児童・生徒と一緒に歌うコーナー。選択曲として上げてある「ラララのラー」と「サウンド・オブ・ミュージック・メドレー」は、身体も使いながら自然に全体が完成していく楽しい曲で、東混が学校公演のために委嘱し作曲・編曲されたオリジナル曲です。第5部では皆が知っている楽しい曲(幸せなら手をたたこう、風になりたい他)を選曲し、手拍子などで一緒に参加していただきます。					
	児童・生徒の参加または体験の形態	以下の1と2はワークショップで事前指導し、本公演で全員が参加共演します。また2は①～③のいずれか1曲を学校で選択。 1)校歌全員合唱 2)①学校自由選択曲 各校の愛唱歌などを自由に選択していただき、合唱団と共に全員合唱します。②ラララのラー 鶴見幸代作曲による自然界の水の巡回についてリズムと身体表現で完成する作品です。③ミュージカルメドレー「サウンド・オブ・ミュージック」森田花央里編曲 一人ぼっちの羊飼いの、エーデルワイス、ドレミの歌をメドレー形式で歌う作品で子供たちが歌うメロディーを支えるように合唱団が歌い完成する作品。簡単な身体動きを伴います以上の2作品は、東混が学校公演のために委嘱したオリジナル作品。子供たちが大人と一緒に声を出して身体でリズムをとっているうちに自然に曲が完成してしまうという誰でも取り組める作品です。 また、校歌と学校自由選択では、生徒の伴奏参加も可。その場合は、ワークショップで事前指導も行います。 以上の他、小学校プログラムに含まれる「幸せなら手をたたこう」など、手拍子を含む聴衆参加型の作品も用意しています。					
	児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	体育館に収容できる人数			
			鑑賞人数目安	体育館に収容できる人数			
	本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	曲目別添					
		公演時間	90	分			
出演者	【指揮者】(いずれも予定) 碓山隆一郎／小林雄太／平川範幸 【ピアニスト】(いずれも予定) 魚谷絵奈／小埜寺美樹／若月直子／藤原藍子 【合唱】東京混声合唱団(22名) * 指揮者とピアニストは、公演スケジュールに合わせて上記より1名ずつ出演いたします。						
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	【指揮者】(いずれも予定) 小林雄太:新潟県出身。東京音楽大学で、指揮を広上淳一他に師事、鍵盤楽器奏者として別府アルグリッチ音楽祭などに出演。指揮研修生として紀尾井ホール室内管、読売日響、東京フィルなどで研鑽を積み下野竜也、高関健の両氏に指導を受ける。2022年より、神奈川フィル副指揮者。プザンソン国際指揮コンクールファイナリスト。 碓山隆一郎:鹿児島県喜界島出身初の指揮者。東京音楽大学卒業後、ドイツ・マンハイムでオーケストラ指揮を、ダルムシュタットで合唱指揮を学ぶ。現在は、オーケストラ・アンサンブル金沢、九州交響楽団など、次代を担う若手指揮者として各地のオーケストラへ客演を重ねている。						
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者:	24	名	運搬	積載量:		t
	スタッフ:	1	名		車 長:		m
	合 計:	25	名		台 数:		台

本公演・ワークショップの内容

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間			時間程度
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出	
	9:00(WS同日開催) 10:00(本公演のみ の場合)	9:15~10:45(本・WSリハ) 10:30~12:00 (本のみの場合リハーサル)		11:00~12:00(WS) 13:30~15:00(本公 演)	10分(WS 休憩なし)	15:30	15時30分	
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月		7月		8月		9月	
	20日		11日		0日		7日	
	10月		11月		12月		1月	
	12日		13日		14日		12日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		89日	
公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真)								
	※会場条件につ いて最低限必要 な条件がある場 合には、様式 No.4内「会場簡 易図面」を記載し							
著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続の要 否			該当あり	該当コンテンツ名	演奏作品		
	該当事項がある 場合	権利者名	日本音楽著作権協会	許諾確認状況	採択後手続き予定			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 東京混声合唱団 】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	・全体として「指導」だけでなく、一部演奏(伴奏付、アカペラ)も織り交ぜながら合唱音楽の成り立ちから、その美しさ、楽しさを体感できるよう学習していただきます。 ・みんなが知っている「ドレミの歌」を用いて、ボディーパーカッションを取り入れながら、子供たちが自然に楽しく参加できるよう工夫いたします。 ・校歌と共演曲では、歌詞とメロディーの関係などをわかりやすく分析して指導いたします。 ・以上を通じて、幅広い表現方法の他、声と身体の関係、良い声を出すための姿勢、また伴奏の役割なども含め、合唱音楽について興味を膨らませ、本公演がさらに実り多い効果があげられるよう楽しく指導を行います。 その他、親しみを醸成するため、団員の自己紹介はニックネームも披露します。		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	上限なし。体育館に収容できる人数
	ワークショップ実施形態及び内容	・ソプラノ、アルト、テノール、バス各1名とピアニスト計5名で実施します。 ①まず1曲(「気球に乗ってどこまでも」、「手のひらを太陽に」等)全員で演奏し、ワークショップへのスムーズな導入をはかる。 ②合唱の成り立ちを学ぶため、各パート(声域)を紹介する。WSのために声域紹介用に特別に編曲された「山の上の音楽家」または各自がパート紹介と自己紹介を兼ねて1曲ずつ歌い各声域の声の特徴を知ってもらう。 ③続いて全員のア・カペラ(無伴奏)演奏により、各々の声域が混ざり合った時の響きを体感してもらう。 ④本公演共演曲を指導する前に、「ウォーミング・アップ」を行う。とくに小学生の場合は「ドレミの歌」によるボディー・パーカッションを用いて、子供たちが自然に音楽に参加できるよう導入する。 ⑤本公演の際に共演する曲(校歌と学校選択曲)について、全員合唱の形で指導する。 ⑥質問コーナーを設け、児童・生徒からきれいな声の出し方、表現方法、その他日ごろから難しいと感じていることなど、様々な質問に回答する。また時間の関係でその場で質問できなかった児童・生徒には、後日先生に質問事項をまとめてメールなどで送っていただき、団員一人一人が丁寧に回答書を書いてメール送付する。 ⑦合唱における伴奏の重要性、またピアノも歌と同等の役割を担っていることを説明する。そのため、ピアニストによるソロ演奏も披露する。		
	その他ワークショップに関する特記事項等	ワークショップでは、本公演で児童・生徒と共演する校歌や共演選択曲を指導するので、本公演に参加する全児童・生徒が参加することが望ましい。		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 東京混声合唱団 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件	(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
	会場の設置階の制限		条件なし		主幹引き込み電源容量			A以上
	舞台設置面積	間口		m	奥行		m	
		高さ		m				
	舞台設置場所	フロア対応	条件なし		学校のステージでの対応		条件なし	
	搬入間口の広さ	幅		m	高さ		m	
	遮光の要否	遮光要件なし		緞帳の要否		不要		
	ピアノの使用について	必ず使用する	ピアノを使用する場合の設置位置の指定			なし		
			ピアノを使用しない場合の移動の要否					
	搬入車両(トラック等)の横づけ	横づけ要件なし		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			m以内	
	搬入車両の種類			台数		台		
	搬入車両の大きさ	車幅		m	車長		m	
備考	搬入車両は使用いたしません。ピアノは必ず使いますが、設置場所は、ステージ上でもフロア上でも、どちらでも構いません。							

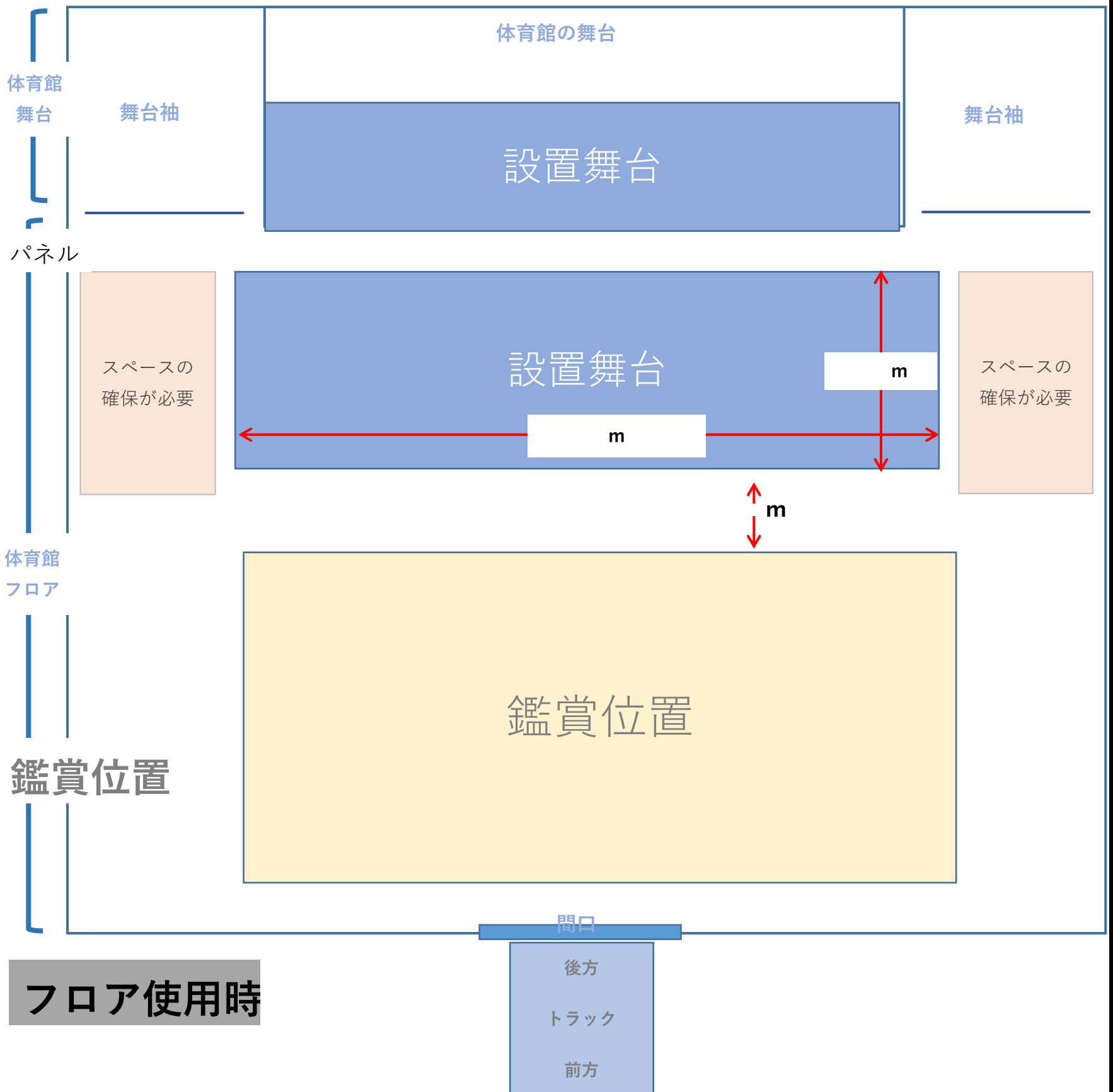
※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
	会場図面の提出要否	不要	
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。 なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
本公演						
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添	なし
----	----

【公演団体名 東京混声合唱団 】

本事業への応募理由等	本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫	【本事業を通じて実現したいこと】
		東京混声合唱団は創立(1956年)以来、教育プログラムを活動の柱のひとつに掲げ、子供のための芸術鑑賞公演を65年以上にわたって積極的に継続実施してきました。1974年(昭和49年)から開始された文部省主催「子供芸術劇場」以降、その後の文化庁主催「文化芸術による子供育成推進事業」また今日の「学校巡回公演事業」にも毎年出演させていただき、数多くの学校公演を重ねてきました。本事業は、未来を担う子供たちが豊かな感性を育む絶好の機会であり、事業主旨そのものが、もとより東京混声合唱団の活動主旨に合致しているからでもあります。合唱は誰もが特別な訓練を経なくても楽しめる分野でありながら、音楽の根源に触れるような奥深い体験ができる稀有の音楽分野です。また、合唱は身近でありながら、プロ合唱団のみが可能とする、最高レベルの演奏に触れる機会が減多にないことも事実です。本事業では、プロ合唱団が日本と世界の合唱作品の名曲の数々を心を込めて演奏し、また子供たちと共演の機会も設けることによって、子供たちの心に感動を刻みたいと考えています。
		【上記の実現に向けて、実施の工夫】
		・WSにおいては、本公演に向けて、期待感を醸成することも大切なので、親しみを込めて、児童・生徒が楽しめるよう工夫しています。そのため、本公演での共演曲の指導の他、「ドレミの歌」によるボディー・パーカッションの実施、質問コーナー(時間の関係で質問できなかった児童・生徒には、後日メール等で回答)。また団員紹介をニックネームで行うことなど。 ・本公演の進行役はWSと同じ団員が務めて、連続性をわかりやすくします。また、プログラムに必ず、聴衆参加型の作品(幸せなら手をたたこう等)を加えて、公演を自分たちも参加し一緒に作り上げていくという意識を与えたいと考えています。 ・「ふれあいオプション」として、①サイン色紙贈呈②全員記念撮影③校歌歌唱音源贈呈の3つから1つ選択していただき、本公演の記憶を永続的なものにしていただきます。 ・そして、何よりもWS、本公演とも笑顔で楽しく、そして心を込めて演奏いたします。 以上を通じて、合唱団員と子供たちとの距離感が狭められることも大切だと考えています。
	事業を適切かつ円滑に実施するための工夫	【学校との連絡調整について】
		以下の学校との連絡調整にあたっては、文字による確認が必要なため、原則としてメールによりますが、必要に応じて電話やファックスも利用しています。 本公演日程調整後 1)ワークショップ日程調整の開始(本公演同日開催の希望有無についても調査) ・日程調整票と共に、ワークショップの概要を記した「ワークショップについて」、共演曲の選択資料として合唱団が提案する「サウンド・オブ・ミュージック・メドレー」「ラララのラー」の楽譜、共演曲の演奏例のYoutubeリンク、およびサウンド・オブ・ミュージックの練習用音源を送付。 2)ワークショップ日程調整後、「実施内容調査票」(WS及び本公演の実施日時の確認、各々の鑑賞人数と学年、共演希望曲の調査、オプションの希望調査、その他希望事項の調査)の送付。 3)WSおよび本公演の約一ヶ月前になったら、実施についての最終連絡として、当日の流れ、控室や体育館の準備についてなど詳細を連絡する。またその際に緊急連絡先として制作担当者(随行者)の携帯電話番号も記載する。
		【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】
		WS・本公演共、小学校用と中学校用の2種類のプログラムを用意、いずれも公演の際は司会役が児童・生徒の反応を見ながら適切に進めてまいります。また、視覚支援学校など、特殊な事情を抱える学校については、事前に電話やメールで各校の児童・生徒数や障害の程度など事情を調査し、WSでの指導方法や本公演での進行方法、また演奏の表現方法なども含めた検討、さらに学校の希望も聞くなどして工夫を行っています。
		【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】
		WS・本公演ともに、実施校による動画撮影を推奨しています。WSにおいては、本公演に向けた指導内容の確認と同時に本公演への期待感を醸成していただき、本公演においては、事後の教育に活用していただくためです。 また、東京混声合唱団メンバーがレギュラー出演しているTV番組(「子供たちの残したい美しい日本の歌」毎週土曜日11:00~12:00BS朝日)も紹介し、視聴していただくことによる継続的な体験を促します。

別添

なし

【公演団体名

東京混声合唱団

】

特別エリア区分で事業を実施するに当たっての工夫

①離島・へき地等における公演実績	これまでの主な離島・へき地等における公演実績は下記のとおり。(令和元年以降) 新潟県佐渡市立河原田小学校(令和元年11月18日) 石川県珠洲市立宝立小中学校(令和3年9月13日) 北海道利尻町立杵形小学校(仙法志小学校、利尻中学校合同)(令和4年11月14日) 綾部市立志賀小学校(物部小学校合同)(令和5年9月7日) 鹿児島県知名町立田皆中学校(沖永良部島)(令和7年6月3日) 以上の他、過去に公演を行った離島は下記のとおりです。 与那国島、南大東島、北大東島、隠岐島、黒島(福岡県)、沖永良部島、久米島、宮古島、慶良間諸島 他
②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、当該地域、また特別エリア区分の企画に求められる要件を踏まえた上で、一般区分と同様の公演及びワークショップの質を保つための工夫	【特殊な事情がある地域での実施に当たっての工夫】 合唱は、舞台装置や照明機材、特殊な衣裳も必要としないし、オーケストラのように楽器の運搬も必要ありません。また会場設営に関しても、普段のそのままの状態で開催可能です。。ピアノだけは必須ですが、これも電子ピアノでも公演可能です。 【質を保つための工夫】 前述のように、合唱においては、離島や過疎地公演に伴う物理的に難しい条件はほぼないと考えます。ただ、小規模校が多いと予想されるため、合唱人数を通常の30名から8名減らして、22名(女声12名、男性10名)で演奏いたします。そして縮小人数のメリットを活かすため、下記のような工夫を行いました。 1)少人数のアンサンブルを活かした様々な形態の合唱曲(女声合唱、男声合唱)一各々12名と10名の少人数による緊密なアンサンブル。(小学校プロ) 2)ア・カペラ(無伴奏)合唱曲一伴奏を伴わない、声だけによる響の純粋性。(中学校プロ) 3)22名でも充分演奏可能な豊かな響による世界と日本の名作合唱曲(小・中・プロ共) 以上により、小・中プログラム共、幅広く、多彩なプログラムを構成するよう工夫しました。 4)ワークショップは、一般区分と同様に、合唱の最低構成要件である、ソプラノ、アルト、テノール、バスの歌手4名とピアニストの5名で行います。
③特別エリア区分応募における、費用面の工夫	旅費と出演費の削減 前述のように、合唱においては人の移動以外に、機材や楽器の搬送はありません。したがって費用面においては、人的移動に関わる旅費と出演費のみ工夫が可能です。そのため、特別エリア区分においては、合唱出演人数を通常の30名から8名減らし22名とします。(その他、指揮者、ピアニスト、随員の総勢25名)

一般区分・特別エリア区分共通			
別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。			
リンク先	No.2	【公演団体名	東京混声合唱団】
本公演演目	【小学校】 ■校歌演奏 ■第1部 日本の歌 気球に乗ってどこまでも(3部混声版 作曲:平吉毅州、作詞:東龍男)*小学校のみ 待ちぼうけ(作曲:山田耕筰、作詞:北原白秋、編曲:林光) この道(作曲:山田耕筰、作詞:北原白秋、編曲:林光) ■第2部 世界の合唱曲より ハレルヤ オラトリオ「メサイア」より(作曲:G.F.ヘンデル) アヴェ・ヴェルム・コルプス(作曲:W.A.モーツァルト) フニクリ、フニクラ(作曲:L.デンツァ) ■第3部 女声・男声・混声合唱～違いを楽しもう 女声合唱曲 ほたるこい(編曲:小倉朗) 男声合唱曲 箱根八里(作曲:瀧廉太郎、作詞:鳥居忱、編曲:林光) 混声無伴奏合唱曲 となりのトトロ(作曲:久石譲、作詞:宮崎駿、編曲:若林千春) ■第4部 みんなで歌おう ①歌う前にみんなでウォームアップ ②校歌全員合唱 ③ABCより選択 A. 各校選択曲 B.ラララのラー(作曲:鶴見幸代) C.ミュージカル・メドレー「サウンド・オブ・ミュージック」 (作曲:R.ロジャーズ、作詞:O.ハマーシュタイン、編曲:森田花央里) ■第5部 みんなのコーラス 幸せなら手をたたこう(スペイン民謡) やさしさに包まれたなら (作詞・作曲:松任谷由美、編曲:首藤健太郎)映画「魔女の宅急便」挿入歌 ジッパ・ディー・ドゥー・ダー(作曲:A.リューベル、作詞:R.ギルバート) 【中学校】 ■校歌演奏 ■第1部 日本の唱歌 箱根八里(作曲:瀧廉太郎、作詞:鳥居忱、編曲:林光) この道(作曲:山田耕筰、作詞:北原白秋、編曲:林光) うみ(作曲:井上武士、作詞:林柳波、編曲:上田真樹) ■第2部 世界の合唱曲より ハレルヤ オラトリオ「メサイア」より(作曲:G.F.ヘンデル) アヴェ・ヴェルム・コルプス(作曲:W.A.モーツァルト) フニクリ、フニクラ(作曲:L.デンツァ) ■第3部 無伴奏合唱曲名曲より エコー(山びこ)(作曲:O.d.ラッソ) 汽車(作曲:チャットマン) ライオンは眠っている(作曲:ソロモン・リンダ) ■第4部 みんなで歌おう ①歌う前にみんなでウォームアップ ②校歌全員合唱 ③ABCより選択 A. 各校選択曲 B.ラララのラー(作曲:鶴見幸代) C.ミュージカル・メドレー「サウンド・オブ・ミュージック」 (作曲:R.ロジャーズ、作詞:O.ハマーシュタイン、編曲:森田花央里) ■第5部 みんなのコーラス 手紙 拝啓十五の君へ(作詞・作曲:アンジェラ・アキ) 群青(作曲:小田美樹、編曲:信長貴富) 風になりたい(作詞・作曲:宮沢和史、編曲:若林千春)		